令和５年度 水戸市立見川小学校 グランドデザイン

見川中学校区小中一貫教育目標
将来をたくましく生き抜く力をもつ児童生徒を育てる

学校教育目標
自ら考え、よりよく行動し、自信をもつ児童の育成

めざす児童像
- ○ よい人間関係をつくる児童
- ○ 地域に積極的に関わる児童
- ○ 進んで運動する児童
- ○ 危険予測・回避できる児童

めざす学校像
- ○ 一人一人が主体的に学ぶ学校
- ○ よりよい人間関係をつくる学校
- ○ 安心・安全で信頼される学校
- ○ 地域とともにある学校

めざす教師像
- ○ 教育に情熱のある教師
- ○ 研修に努め，実践力のある教師
- ○ 豊かな人間性をもった教師
- ○ 協働で教育に取り組む教師

令和５年度の経営の重点
一人一人が主体的に学ぶ学校づくり

学ぶことに興味・関心を持ち、なりたい自分の未来を目指しながら、
見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学びを振り返り、次につなぐ

1 「考える場」を大切にした授業実践（キーワード：見通す場・広げ 深める場・振り返る場）
2 「見川小スタイル」の学びの構築（「書く」「聴く」「話す」を大切にした学び、AI ドリルの導入）
3 教職員の資質向上（学年チームを柱にした共に伸びる体制づくり、職員室だよりの活用）
4 安心・安全な学校づくり（コンプライアンスの徹底、風通しのよい職場、保護者・地域との連携）
5 働き方改革を目指した業務改善（業務の平準化、日課表の見直し、行事の工夫と精選等）

学校組織目標　「児童が考える場」を工夫する
～見通す場・広げ 深める場・振り返る場～

知のプロジェクト「うつくしく」
～確かな学力を目指した場の工夫～

○わかる授業の確立
- ・「見川小スタイル」の学びの構築
- ・学年会による週案の作成
- ・相互授業参観による研修

○家庭学習の充実
- ・「家庭学習の手引き」の工夫と改善
- ・「自ら学ぶ」週末の自主学習
- ・AIドリル等の積極的な活用

徳のプロジェクト「むつまじく」
～思いやりの育成を目指した場の工夫～

○よりよい人間関係づくり
- ・一人一人が活躍できる場の工夫
- ・いじめを許さない集団づくり
- ・道徳の授業の更なる充実

○主体的に取り組む特別活動
- ・工夫を活かした委員会活動
- ・みんなで取り組む係活動
- ・豊かに交流する異学年活動

体のプロジェクト「たくましく」
～健康な体づくりを目指した場の工夫～

○体力向上を図る場の工夫
- ・主体的に運動する場の工夫
- ・体育科の授業の充実
- ・体育委員会を活かした企画

○基本的な生活習慣の構築
- ・規律と協働の水戸八策の充実
- ・交通安全と健康意識の向上
- ・家庭との連携・協力の充実

校内研修課題　主体的に学ぶ児童の育成　～わかる授業の確立と効果的な ICT の活用を通して～

小中連携

○ 小中一貫の推進
- ・見川中学校区３校の連携
  （学力向上を目指した連携）
- ・見川中学校との連携
  （行事や施設の調整）
  （危機管理上の連携と協働）
- ・幼小の連携
  （連携行事等の再構築）
  （交流の場の更なる工夫）

保護者との連携

○ ＰＴＡ活動の推進
- ・活動の工夫と再構築
- ・登下校見守りの連携・協力
- ・課題の共有と更なる改善

○ ネットワークの構築
- ・マチコミ等の活用
- ・確実な欠席等の連絡・確認
- ・メール送信の活用

地域との連携

○ コミュニティスクールの推進
- ・課題の共有
- ・課題解決に向けた熟義
- ・学校・保護者・地域の連携

○ 情報発信の充実
- ・学校ホームページの活用
- ・あいさつ運動等による交流
- ・各種団体との連携・協力